

佳作

とじないで あなたの心

ひらくとき

桂川中3年 木原 遥香さん

03 農地・水・環境 保全向上対策事業が開始



国

や県・町が、農地・農業用水などの保全管理に必要な経費などを負担する「農地・水・環境保全向上対策事業」に向けて、「土師生活環境を守る会」が6月30日、土師1区を中心として発足しました。

現在、農村地帯では高齢化が進行しており、農地や農業排水などの資源を、従来の形（集落などの地域の共同活動など）では、保全管理していくことが難しくなっています。

そのため農林水産省が今年度から、農地・水・環境の良好な保全と、その質の向上を図る新たな対策として「農地・水・環境保全向上対策」として、全国に展開しているものです。

この「農地・水・環境保全向上対策事業」は農業の新しい形態として、これからの動きが注目されています。

テーマ別ミーティング報告

6月29日開催の「家庭・地域・学校と子どもたち」パート1

【趣旨】一人の親として、地域で子どもを見守る一人として、子どもたちを健全に育てるためには、どんなことができるか、どんなことをしなければならないかについて、各代表者の立場で様々な考えや意見を、提案してもらったものである。(参加者：28名)

● 提案された意見など

○ 今の子どもたちは、服装などの外見に関係なくモラルの欠如が感じられる。これは、大人の姿勢・モラルの欠如が原因ではないか。

○ 子どもたちが溜まる(集まる)場所は、草が茂った公園やゴミの多い所です。周囲の大人が率先して地域の公園などを清掃し、その姿勢を子どもたちに示すことも、大事なことだと思います。

○ 子どもたちは、地域クラブの先生や監督の話は聞くが、学校の先生の話は聞かないなど、態度が違ふこともある。そのため、地域クラブと学校との交流や情報交換も必要と思います。

○ あいさつ運動などは、行政任せでは無く、それぞれの地域で志のある人が動くスタンスが、良いかと思えます。

○ 子どもたちを教育していく上で、「教育イコール学力」だけではない。それぞれの長所を伸ばすことによつて、子どもたちに自信を持たせることも、私たち大人の大切な役目だと思います。

○ 国際交流を行い、生徒たちに他の国の子どもたちと触れ合うことで、より良い刺激を受けさせることも、大切なのではないのでしょうか。

○ 現在、地域行事(盆踊りやゴミ拾いなど)への子どもたちの参加が少ない。夏休み前などに、子どもたちへ地域行事への参加を促して欲しいと思います。

今回のテーマ別ミーティングでも、非常に多くの意見が出されました。紙面の都合上、残りの意見等については、次号(9月号)に、パート2として紹介させていただきます。